

東日本大震災復興支援
第70回国民体育大会
バスケットボール競技会

2015 紀の国 わがやま 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月24日 ▶ 10月6日



成年女子準々決勝

主審 黒岡 和哲

副審 山田 豊弘

山形県 64

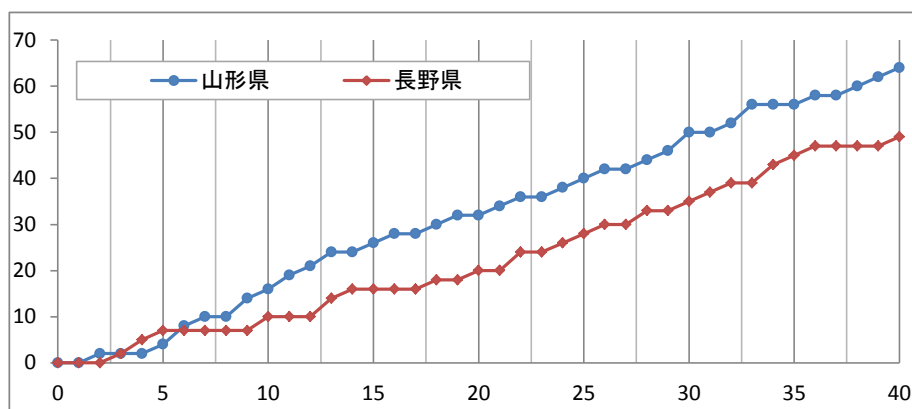
○

16	-	10
16	-	10
18	-	15
14	-	14
-	-	-

49 長野県

●

No. 23G-1 日時：2015年9月23日(水) 10:00 会場：海南市総合体育館Gコート



山形県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	中村 早希	-	-	-	-	-	-	-
5	* 佐藤 綾香	14	0	5	4	2	8	2
6	* 青山 彩七	4	0	2	0	3	7	0
7	知久 麻美	3	1	0	0	0	1	2
8	熊谷 菜奈	-	-	-	-	-	-	-
9	* 佐藤 優香	22	0	11	0	3	6	4
10	森 木乃美	2	0	1	0	0	2	0
11	* 赤川 愛 (C)	4	0	2	0	2	6	1
12	木村 有沙	2	0	1	0	0	0	0
13	岩井 萌	0	0	0	0	0	0	0
14	渋谷 実菜子	9	1	2	2	1	4	0
15	* 倉永 あずさ	4	0	2	0	0	6	7
コーチ 福島 雅人						0		
合計		64	2	26	6	11	40	16

長野県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	畠山 沙織	-	-	-	-	-	-	-
5	* 池内 侑里 (C)	14	0	4	6	3	5	5
6	堀内 三奈	-	-	-	-	-	-	-
7	* 松澤 希美	10	0	5	0	3	9	3
8	* 横井 美沙	8	0	4	0	2	10	2
9	飯島 早紀	2	0	1	0	0	0	0
10	* 宇羽野 美希	6	2	0	0	0	3	2
11	松澤 愛美	-	-	-	-	-	-	-
12	内堀 美紅	-	-	-	-	-	-	-
13	野溝 由佳	-	-	-	-	-	-	-
14	* 内堀 紫菜	7	2	0	1	3	6	2
15	丸山 陽絵	2	0	1	0	1	2	0
コーチ 真田 功						0		
合計		49	4	15	7	12	35	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

準々決勝、山形県対長野県。両チームマンツーマンで始まる。お互いかたさのみられる立ち上がり、先手を取ったのは山形。#9のミドルシュートが立て続けに決まり、1ピリオドを16-10山形リードで終える。

2ピリオドに入り、長野は#7のカットイン、#5のインサイドで反撃に出る。一方山形は#9のドライブを中心に、#7の3Pなど多彩な攻撃で着実に得点を重ね、追い上げを許さない。32-20山形リードで前半終了。

3ピリオドに入っても一進一退の攻防が続く。山形は#5のインサイドでのプレーを中心に得点。長野も息の合ったパスワークから#5がファウルをもらい確実に得点につなげる。50-35山形がわずかにリードを広げ、最終4ピリオドを迎える。

4ピリオド、長野は粘り強いディフェンスから#14の3Pや速攻で追い上げを図るが、山形は要所で#5の速攻、#14のシュートが決まり、最終64-49で山形が勝利。

山形県の底力が勝ったゲームだったが、長野県の粘りも称えたい。

記者 大江 拓史 (所属) 和歌山県バスケットボール協会

東日本大震災復興支援
第70回国民体育大会
バスケットボール競技会

2015 紀の国 わがやま国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月24日 ▶ 10月6日



成年女子準々決勝

主審 大倉 守正

副審 小島 慶子

愛媛県 89

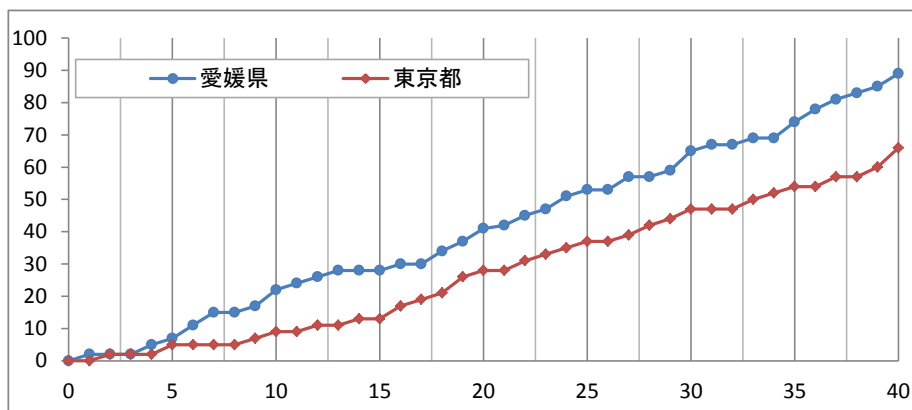


22	-	9
19	-	19
24	-	19
24	-	19
-	-	-

66 東京都



No. 23G-3 日時：2015年9月23日(水) 13:50 会場：海南市総合体育館Gコート



愛媛県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	川端 実乃里	0	0	0	0	0	1	0
5	堀内 聡美 (C)	3	1	0	0	1	0	1
6	* 田村 未来	28	6	4	2	2	7	9
7	武村 栞	2	0	0	2	1	2	0
8	* 精木 由依	8	0	2	4	3	4	0
9	宮武 麻理	2	0	0	2	0	0	0
10	* 浅井 美憂	15	0	7	1	1	11	2
11	* 吉川 裕子	16	0	7	2	2	7	2
12	近藤 由惟	2	0	1	0	0	0	0
13	酒井 景子	3	0	1	1	1	5	3
14	* 大森 彩乃	10	0	4	2	3	14	2
15	柏 彩	0	0	0	0	0	0	0
コーチ 渡部 治						0		
合計		89	7	26	16	14	51	19

東京都

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	富永 藍	0	0	0	0	1	1	1
5	* 高田 渚	3	1	0	0	3	5	3
6	* 木村 優里	12	2	3	0	1	3	1
7	* 打越 裕梨	15	1	5	2	4	3	0
8	坂本 杏紗	3	1	0	0	2	1	0
9	金城 里奈	13	0	5	3	0	1	1
10	安斎 琴葉	7	1	2	0	3	4	1
11	* 水澤 春奈	0	0	0	0	1	2	3
12	飯野 菜李	2	0	1	0	2	3	1
13	田淵 かおり	0	0	0	0	2	7	1
14	* 奥里 綾子 (C)	2	0	1	0	3	11	0
15	藤木 茜	9	2	1	1	2	2	1
コーチ 森 俊一						0		
合計		66	8	18	6	24	43	13

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

先取点は愛媛。愛媛#6がスティールから3Pを決める。愛媛#11の速攻が決まり残り4分で11-5と愛媛が試合を有利に進める。愛媛はディフェンスの動きがよく簡単に東京の得点を許さない。愛媛#13が3Pを3本決めて22-9で終了。
2ピリオド中盤まで愛媛が30-15とリードするが、残り3分、愛媛に疲れが見え始め、東京が#10の速攻、#6、#7のシュートで追い上げた。しかし終了間際、愛媛#6が3P、直後2連続ドライブを決めて傾きかけた流れを呼び戻す。41-28で前半終了。
後半に入っても愛媛は運動量の多さを見せつける。愛媛#14がリバウンドやルーズボールで頑張りを見せて得点を伸ばす。愛媛#11の速攻やオフェンスリバウンドでの活躍が光っていた。65-47で愛媛リードのまま3ピリオド終了
4ピリオドに入っても、愛媛の勢いは止まらない。#10がディフェンスで頑張り、スティールからの速攻を決めれば、愛媛#6が3Pを沈め74-54と点差を広げる。東京は守備ラインを上げ、スティールから積極的に3Pを狙う。東京#10、#8、#15が3Pを決め会場を沸かせたものの、結局89-66で愛媛が勝利。しかし東京の終盤の追い上げも見事であった。

© 2015 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.007a

東日本大震災復興支援
第70回国民体育大会
バスケットボール競技会

2015 紀の国 **わがやま** 国体
第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆
平成27年 9月24日 ▶ 10月6日



成年女子準々決勝

北海道 51

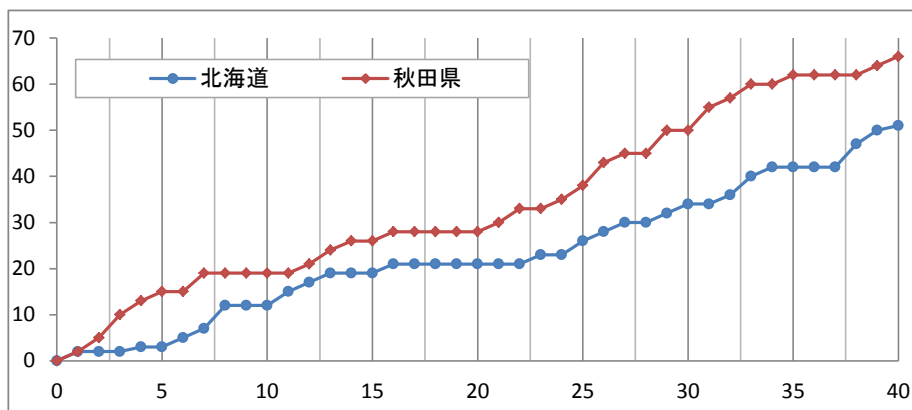
66 秋田県

主審 福岡 敏徳

副審 堀江 友希

12	-	19
9	-	9
13	-	22
17	-	16
-	-	-

No. 23G-4 日時：2015年9月23日(水) 15:45 会場：海南市総合体育館Gコート



北海道

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 檜森 彩花	0	0	0	0	0	1	0
5	多田 美紗希	3	1	0	0	1	1	2
6	渡邊 莉子	6	2	0	0	1	0	0
7	* 熊谷 春花	7	1	2	0	3	7	3
8	工藤 稚菜	0	0	0	0	0	0	0
9	佐藤 友波	0	0	0	0	0	0	0
10	* 熊谷 いずみ (C)	11	0	5	1	4	12	1
11	* 藤原 恵美	9	0	4	1	3	7	2
12	* 小島 加奈恵	2	0	1	0	2	0	0
13	古屋 有紀	9	0	4	1	1	2	0
14	田中 渚小	2	0	1	0	1	1	1
15	佐藤 風花	2	0	1	0	0	1	0
コーチ 泉 春美						0		
合計		51	4	18	3	16	32	9

秋田県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 成田 麻沙美 (C)	2	0	0	2	1	0	2
5	* 矢上 若菜	19	3	4	2	0	3	2
6	鈴木 友佳子	8	0	3	2	1	9	0
7	小松 恵	6	0	3	0	1	6	2
8	大野 真湖	2	0	1	0	0	2	0
9	* 永野 友香里	0	0	0	0	2	5	2
10	* 加藤 茉奈美	12	2	1	4	1	2	1
11	花田 遥歌	2	0	1	0	1	3	2
12	阿部 優美香	2	0	0	2	1	3	0
13	加藤 三津子	0	0	0	0	0	1	1
14	有明 葵衣	0	0	0	0	1	4	1
15	* 伊藤 美和子	13	1	4	2	3	10	3
コーチ 小笠原 真人						0		
合計		66	6	17	14	12	48	16

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦 評

準々決勝、北海道対秋田県。両チームマンツーマンで始まる。開始3分、秋田は#10の3Pを皮切りに#5の3P、スティールなどで2-13と一気に流れをつかむ。序盤かたさのみられた北海道は#11のインサイドなどで応戦、少しずつオフェンスが機能し始め、1ピリオドを12-19で終える。2ピリオド、両チーム互角の戦い。北海道は#7と#13の息の合ったプレーで会場を沸かす。対する秋田は#5のドライブを主体に得点。21-28、7点差は変わらず前半を終える。3ピリオド、秋田は#15のインサイドでのプレーで徐々に点差を広げる。北海道は#10のインサイド、#6の3Pなどで食らいつこうとするが、秋田のリバウンドの強さが光り、34-50と秋田がリードを広げ3ピリオドを終える。4ピリオド、北海道は#13のリバウンドからのシュートなどで得点するが、秋田は#8、#7がインサイドをうまく攻める。北海道は終盤オールコートでプレスをかけるが、秋田は巧みにゲームをコントロールし51-66で秋田が準決勝に駒を進めた。

記事者 大江 拓史 (所属) 和歌山県バスケットボール協会